

はじめに

「熟議 2015 in 兵庫大学」報告書の刊行にあたって

兵庫大学・兵庫大学短期大学部 学長 三浦 隆則

「熟議 2015 in 兵庫大学」は、本学の熟議としては4回目の開催になります。第1回(2012年)は、文部科学省との共催で、「地域社会における生涯学習社会の構築と大学・自治体の役割」をテーマとして行いました。「熟慮」して「議論」するという「熟議」の手法により、異なる世代の者が集い、教え合い、学び合う場となりました。

第1回の熟議の成果を振り返り、熟議の推進役である本学の「熟議プロジェクトチーム」は、熟議を1回で終わらせるべきでなく、「継続する」との結論を出しました。新たに3年間のテーマとして「加古川地域の未来について話をしよう！」が定められました。

3年計画の1年目である第2回(2013年)は、加古川地域の現状と課題を知り、今後進むべき道筋について知ることとしました。地域のニーズを知ることとともに、「強み」と「弱み」を解析する形で進めました。2年目となる第3回(2014年)の熟議のテーマは、引き続き「加古川地域の未来について話をしよう！」ですが、サブテーマを「①加古川地域の防災・減災、②加古川地域の防犯」としました。具体的には、①では「安全・危険の判断は誰がするべきか」、②では「防犯カメラは必要か」について議論されました。加古川市との共催になったこと、熟議の情報共有としての代表者討論会の実施など、記憶に新しいところです。

さて、「熟議 2015 in 兵庫大学」は、3年計画で進めてきた「加古川地域の未来について話をしよう！」というテーマの最終年度に当たります。サブテーマを「加古川地域のちから～安心・安全を創る～」とし、3年間の集大成として、「創る」までを目標としました。第1段階では、地域における安心・安全の課題を明らかにし、第2段階では課題についての解決策を話し合い、ワークショップの最後に、各グループの結論を「カルタ」にすることになりました。全員で知恵を絞って、「カルタ」を「創る」ことができました。なお、熟議の閉会時に参加者に「速報」を届けることができ、素敵な「創る」となりました。ウェブでの事前学習(熟慮)、大きな1会場でのグループワークとしたこと等も含め、今回の熟議の成果を、本報告書からお読み取りいただければ幸いです。

最後に、本熟議に参加していただいたみなさま、メインファシリテーターとして熟議の時間管理、推進をしていただいたNPO法人生涯学習サポート兵庫理事長の山崎清治さま、各グループのファシリテーターとして事前研修に励み、当日のワークショップ運営にご尽力いただいた学生諸君、熟議実施にいたるまでの諸準備と報告書作成にご尽力いただいた熟議プロジェクトのみなさま、および関係者のみなさまに深くお礼を申し上げます。